

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年2月26日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 402 「 丘 に た て る 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 632 「 な お も み 恵 み を 」	一 同
教会学校	紙 芝 居 「 最 初 の 罪 」	牧 師
讃 美	聖 歌 580 「 祈 り す れ ど 」	一 同
聖書朗読	エゼキエル33:10-11	
奨 励	エゼキエル書の福音(第11回)	牧 師
主 題	「立ち帰って生きよ」	
讃 美	聖 歌 614 「 主 の 愛 の 汝 が 内 に 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 376 「 父 、 御 子 、 御 霊 の 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	エゼキエル書第 34 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

2/26(日)聖日礼拝
/27(月)
/28(火)
3/1(水)
/2(木)10:00聖研
/3(金)
/4(土)13-16子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① コロナ禍の速やかな終息のために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「罪の実感」

(飯島正久著「罪の問題」p.22)

聖書が罪について語るとき、「なるほどな」と思う人はあっても、すぐに罪の実感を持つ人は少ないでしょう。教会を訪れて罪の話を聞くととき、人間の弱さという共通の問題に共鳴する人は多いかもしれませんが、「自分が罪びとだ」という風に感じる人は多くありません。むしろ、罪についてあまり深刻に感じるのは、一種の精神異常者なのではあるまいか、などと思ったりする。いや、それほど悪い意味でなくとも、強く罪意識を感じるのは、一種の天才ではないだろうかと思えます。

ちょうど音楽、詩歌、絵画等の分野にも天才があって、普通人の感じない音や色彩、あるいは情感風趣を鋭くとらえるのと同じく、普通人以上に鋭い罪意識の故に宗教家になる、そんな天才があるように思ったりするのです。ですからその逆に、生まれつき格別苦悩もなく、順調な環境で育ち、楽天的で陽気なばかりでなく、素直で善良な人間もあるわけで、そのような人は、いくら聖書を読んでも、罪を実感して救いを願うようなことはないし、またその必要すらないのではあるまいか?!

このように考えるならば、罪の実感を持つということは、生まれつきの天才か、あるいは特別不幸な環境に生まれついて、後天的に悲惨と苦悩にもみぬかれた不運児に限られたことになってしまいます。私も昔はまじめにそう考えていたことがあるのです。しかし、これはまちがいです。

どのようにまちがっているかを申し上げます。まず、「感じるか・感じないか」を問題にする前に、「あるか・ないか」を問題にするべきです。すなわち、罪の実感をうんぬんする前に、罪の實在について考究すべきだということなのです。これは分かり切ったことです。何によらず、「感じる」からあるのではなく、まず「ある」から感じるのです。そして「ある」事が分かっている、なお「感じない」ときそれが問題になるわけです。罪の場合もそうです。罪の実感のあるなしを真っ先に考えるからまちがいをおかすのです。真っ先に取り上げるべき事は「罪の實在」です。

そして人間の最大問題は、罪の実感のあるなしではなくて、罪の實在に人間が盲目であるということです。また、実感というものは希なこと、異常なこと、特別なこと、めったにないことに対して働くものです。ですから、罪のように万人に常時備わっている常態は、人間の実感にのぼるはずはないのです。